

追加型投信 / 内外 / 株式

サイバーセキュリティ株式オープン  
(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

## サイバーセキュリティ関連企業の足下の決算動向

ファンド情報提供資料  
データ基準日: 2020年6月9日

「急速にオンライン化する社会の中で注目されるサイバーセキュリティ関連企業」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴いオンライン化が進む社会の中で、サイバーセキュリティ関連企業の成長が期待されます。詳しく動画でまとめていますので、ぜひご覧ください！

・動画は一定期間経過後、予告なく削除されることがあります。

・サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり)を「為替ヘッジあり」、サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)を「為替ヘッジなし」ということがあります。また、これらを総称して「当ファンド」、各々を「各ファンド」ということがあります。また、当ファンドが実際の運用を行うサイバーセキュリティ株式マザーファンドを「マザーファンド」ということがあります。・本資料は、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシー(以下、アリアンツ社)のコメント・資料を基に作成しております。

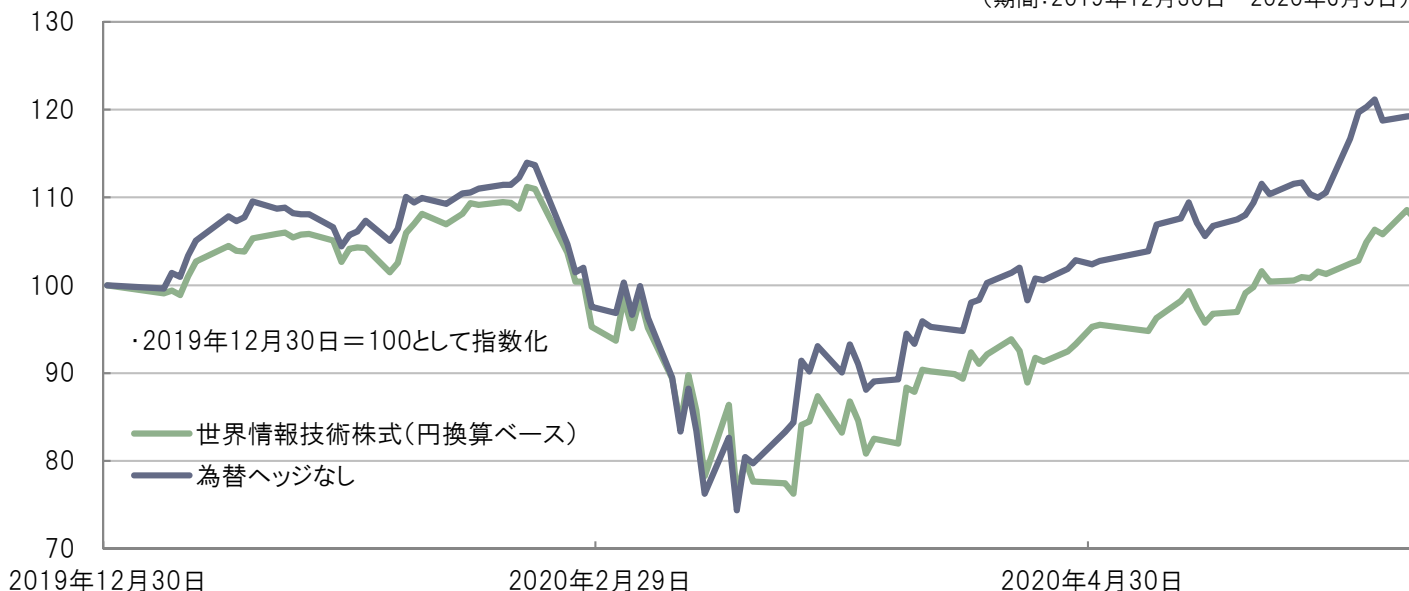
平素は、「サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。本資料では、当ファンドの主要投資対象であるサイバーセキュリティ関連企業の足下の決算動向を中心に報告いたします。

## 投資環境と当ファンドの足下の運用状況(2020年初来～2020年6月9日)

- 世界株式市場は、2020年初から2020年2月中旬にかけて、米中通商協議における第1段階の合意が好感されたことなどから上昇しましたが、2月下旬以降は、新型コロナウイルス感染症(以下、新型肺炎)の感染拡大への懸念が高まったことなどから下落しました。
- 3月中旬以降は、米国をはじめとする各国の中央銀行による積極的な金融緩和や各国政府による支援策が好感されたことに加え、欧米の経済活動再開への期待が高まったことなどから世界株式市場は上昇しました。
- このような市況推移の中、リモートワークの浸透等によるサイバーセキュリティの需要拡大への期待などから、当ファンドの基準価額は年初来で上昇しました。

## 2020年初来の「為替ヘッジなし」と世界情報技術株式の推移

(期間: 2019年12月30日～2020年6月9日)



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・基準価額は、当ファンドの代表的なファンドのデータとして「為替ヘッジなし」のデータを掲載しています。「為替ヘッジあり」の基準価額の推移については後記をご覧ください。・世界情報技術株式は、「為替ヘッジなし」の基準価額の算出基準日に対応する現地時間に基づき記載しております。世界情報技術株式は指数(配当込)を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については【本資料で使用している指数について】をご参照ください。なお、指数は米ドルベースの指数を使用しており三菱UFJ国際投信が円換算しています。・上記の指数はファンドのベンチマークではありません。また、上記の指数は世界情報技術株式の値動きを説明するために表示しています。

※本資料はサイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)の運用状況を投資家のみなさまにご紹介するために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

## 世界経済低迷の中でも、サイバーセキュリティ関連企業の業績は良好

- 2020年2月以降、新型肺炎の感染拡大を受け、世界経済の先行き不透明感が強まりましたが、当ファンドの組入上位10銘柄の2020年4月から2020年6月に発表された直近の四半期決算では、ほとんどの企業の売上高が前年同期比でプラスになるなど、企業業績が良好であったことが確認されました。
- また、世界株式や世界情報技術株式の予想売上高成長率はマイナスとなった一方で、サイバーセキュリティ関連企業の予想売上高成長率は、サムスン電子やアルファベットを除く上位10銘柄でプラスとなっています。
- リモートワークの浸透やサイバー攻撃の増加によりサイバーセキュリティの重要性が高まっている事から今後の更なる成長が期待されます。

## 組入上位10銘柄の直近四半期決算における売上高成長率と、次回四半期決算発表予定(2020年6月4日時点)

## 実績

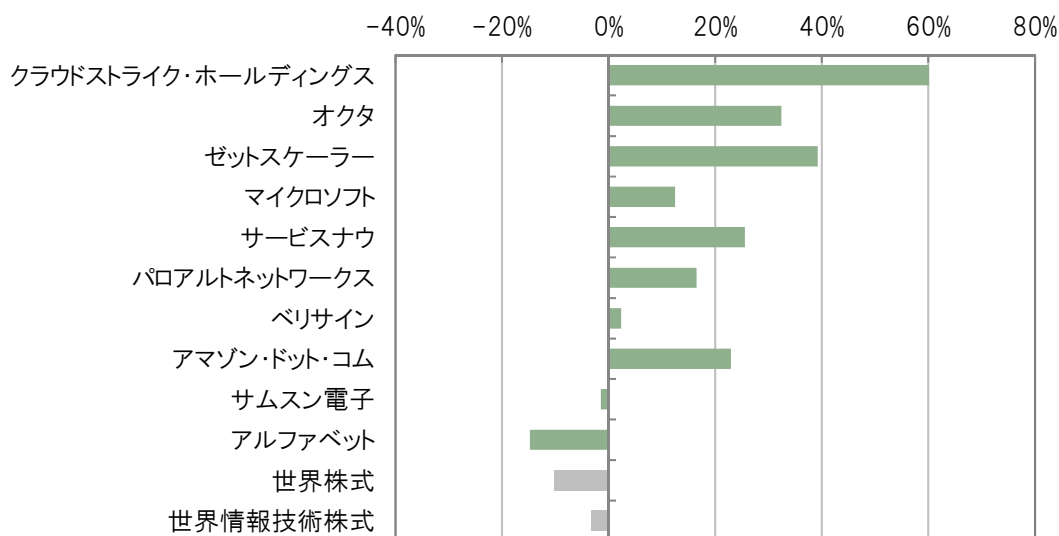
銘柄名	保有比率	売上高			次回決算発表予定日(年/月/日)
		前年同期(億米ドル)	今期(億米ドル)	前年同期比	
クラウドストライク・ホールディングス	8.9%	1.0	1.8	85.3%	2020/09/03
オクタ	7.9%	1.3	1.8	46.0%	2020/08/28
ゼットスケラー	7.6%	0.8	1.1	39.7%	2020/09/10
マイクロソフト	6.6%	305.7	350.2	14.6%	2020/07/17
サービスナウ	4.2%	7.9	10.5	32.6%	2020/07/24
パロアルトネットワークス	4.0%	7.3	8.7	19.7%	2020/09/04
ベリサイン	3.5%	3.06	3.13	2.0%	2020/07/24
アマゾン・ドット・コム	3.3%	597.0	754.5	26.4%	2020/07/24
サムスン電子	3.1%	461.5	454.0	-1.6%	2020/08/13
アルファベット	3.1%	363.4	411.6	13.3%	2020/07/24

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・次回決算発表予定日は変更になることがあります。・サムスン電子の売上高は、前年同期は1米ドル=1135.18韓国ウォン(2019年3月末)、今期は1米ドル=1218.54韓国ウォン(2020年3月末)で換算しています。

## 組入上位10銘柄と世界株式、世界情報技術株式の年間予想売上高成長率(2020年6月4日時点)

## 予想



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・組入上位10銘柄とその保有比率は2020年5月29日時点です。・保有比率は純資産総額に対する割合です。・保有比率は、当ファンドの代表的なファンドのデータとして「為替ヘッジなし」のデータを掲載しています。「為替ヘッジあり」の組入銘柄と組入比率については、月報をご覧ください。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・上記は当ファンドのご理解を深めていただくために、組入銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・上記は指数を使用しております。指数については【本資料で使用している指数について】をご参照ください。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

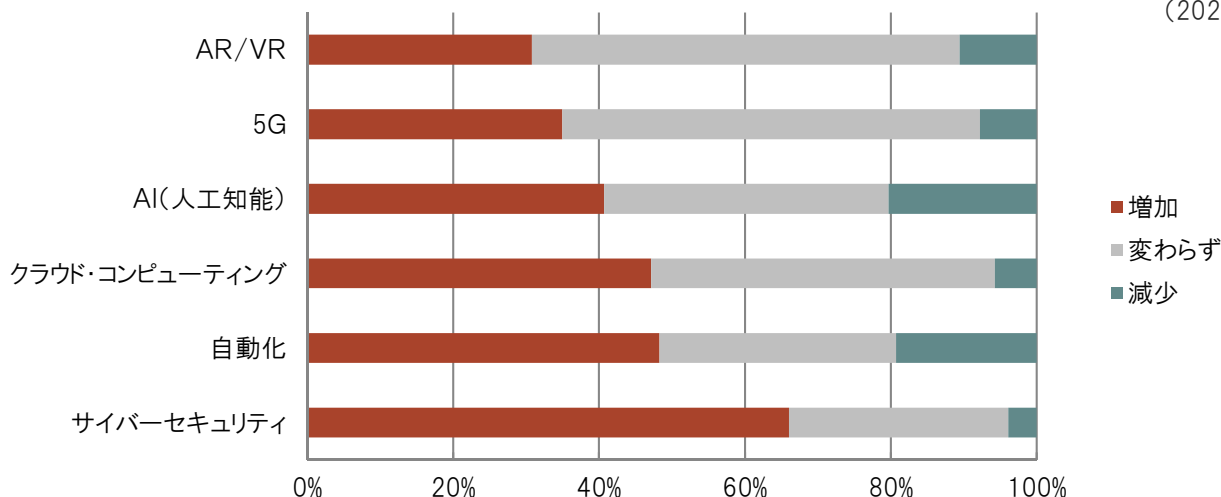
## サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

## 新型コロナウイルスの感染拡大により企業のサイバーセキュリティ対策投資額は増加

- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、多くの企業がIT投資額を増加させると予想されています。特に、テレワークの拡大等に伴い企業が優先的にサイバーセキュリティ対策を進めていると考えられることから、サイバーセキュリティに関連する投資額の増加を予想する企業が多い状況です。
- 今後、サイバーセキュリティ対策への需要増加を背景としたサイバーセキュリティ関連企業の成長が期待されます。

## 新型コロナウイルスの感染拡大の影響による企業のIT投資額予想

(2020年4月末時点)



※ 18歳以上の大手企業代表者の回答を抽出しています。有効回答数:631人

(出所) statistaのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

## 組入上位4銘柄と2020年5月に新規組入れした銘柄の紹介

## 組入順位1位 組入比率8.9%

米国

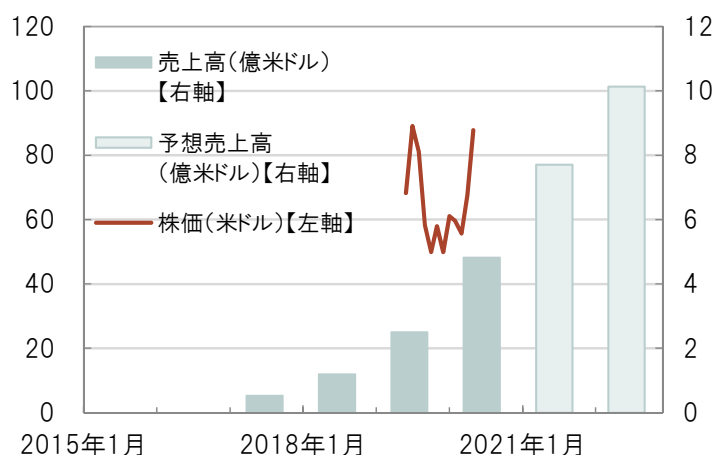


## クラウドストライク・ホールディングス

- 企業のエンドポイント・プロテクション\*に関するプラットフォームを構築するクラウドベースのセキュリティソリューションを提供。
- 多くの企業でセキュリティ管理者と利用者の両方がリモートワークへ移行したことから、メンテナンスが不要な同社のサービスが選好され、2020年2月-2020年4月期は市場予想平均を上回る良好な決算となりました。
- 同社のプラットフォーム戦略は奏功しており、同社製品を4つ以上利用している顧客の割合は増加しています。今後も社会環境の恩恵を受けながら、長期的にも成長を続けていくと考えています。

\*パソコンなど、端末を守るためのセキュリティのこと。

## 株価等の推移

(期間)株価:2019年6月末~2020年5月末  
売上高・予想売上高:2017年度~2022年度

(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・組入順位と組入比率は2020年5月29日時点です。・組入比率は純資産総額に対する割合です。・組入比率は、当ファンドの代表的なファンドのデータとして「為替ヘッジなし」のデータを掲載しています。「為替ヘッジあり」の組入銘柄と組入比率については、月報をご覧ください。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・上記は当ファンドのご理解を深めていただくために、組入銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・売上高は銘柄の会計年度ごとに2017年度~2022年度(予想売上高含む、2020年6月4日時点のBloomberg予想値)を記載しております。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

## 組入上位4銘柄と2020年5月に新規組入れした銘柄の紹介

組入順位2位 組入比率7.9%


**オクタ**

- インターネット・アプリケーション・ソフトウェア開発会社。シングルサインオン\*に強み。
- 新型肺炎の感染拡大によるロックダウン(都市封鎖)対策としてリモートワークに移行する顧客が増加したことが、同社の売上拡大の追い風となり、2020年2月-2020年4月期は市場予想平均を上回る良好な決算となりました。
- 多くの企業がマクロ環境の不透明さから今後の業績見通しを撤回していますが、同社は通期の収益見通しを据え置きました。
- 同社はアマゾンウェブサービスのシングルサインオンに関する新しいパートナーシップを2020年5月に発表しました。今後も企業のクラウド化に伴うシングルサインオンの採用が予想されるため、長期的にも魅力的な銘柄であると考えています。

\*1度のユーザーアカウント認証処理で、複数のアプリケーションなどを利用できるようにする仕組みのこと。

## 株価等の推移

(期間)株価:2017年4月末~2020年5月末  
売上高・予想売上高:2015年度~2022年度

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

組入順位3位 組入比率7.6%


**ゼットスケラー**

- セキュリティサービス企業で、クラウドをベースとしたプラットフォームを提供。
- 新型肺炎の感染拡大によるロックダウン対策としてリモートワークに移行する顧客が増加したことから、同社の売上拡大の追い風となり、2020年2月-2020年4月期は市場予想平均を上回る良好な決算となりました。また、パブリッククラウド\*とデータセンターの通信セキュリティを保護するEdgewise Networks(エッジワイズ・ネットワークス)を新たに買収したことを2020年5月に発表しました。
- 同社はクラウドセキュリティの先駆者でもあり、新CRO(最高売上責任者)は多くの企業のニーズに対応した同社サービスの販売力強化を行っており、長期的な成長を見込んでいます。

\*不特定多数のユーザーにインターネットを通じて提供するクラウドサービスのこと。

## 株価等の推移

(期間)株価:2018年3月末~2020年5月末  
売上高・予想売上高:2015年度~2022年度

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・組入順位と組入比率は2020年5月29日時点です。・組入比率は純資産総額に対する割合です。・組入比率は、当ファンドの代表的なファンドのデータとして「為替ヘッジなし」のデータを掲載しています。「為替ヘッジあり」の組入銘柄と組入比率については、月報をご覧ください。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・上記は当ファンドのご理解を深めていただくために、組入銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・売上高は各銘柄の会計年度ごとに2015年度~2022年度(予想売上高含む、2020年6月4日時点のBloomberg予想値)を記載しております。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。



## サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

## 組入上位4銘柄と2020年5月に新規組入れした銘柄の紹介

組入順位4位 組入比率6.6%


**マイクロソフト**

- ソフトウェア製品の開発、製造、ライセンス供与、販売、サポートするソフトウェアメーカー。
- 新型肺炎の感染拡大によるロックダウン対策としてリモートワークに移行する顧客が増加したことが、同社のクラウドプラットフォームであるMicrosoft AzureやExcelやWord等のツールのサブスクリプション\*サービスであるMicrosoft 365等のクラウドサービスの売上拡大の追い風となりました。
- 今後、新型肺炎の感染拡大に伴うリモートワークの移行等オンライン社会の進展やクラウド化により、顧客の要求するサービスの水準は高まることが予想されますが、同社のクラウド、セキュリティ、AI等のサービスはそのような顧客のニーズに対応でき、同社は新型肺炎の危機以降も競争力を維持すると考えています。

\*継続課金型のビジネスモデルのこと。

## 株価等の推移

(期間)株価:2015年1月末~2020年5月末  
売上高・予想売上高:2015年度~2022年度

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

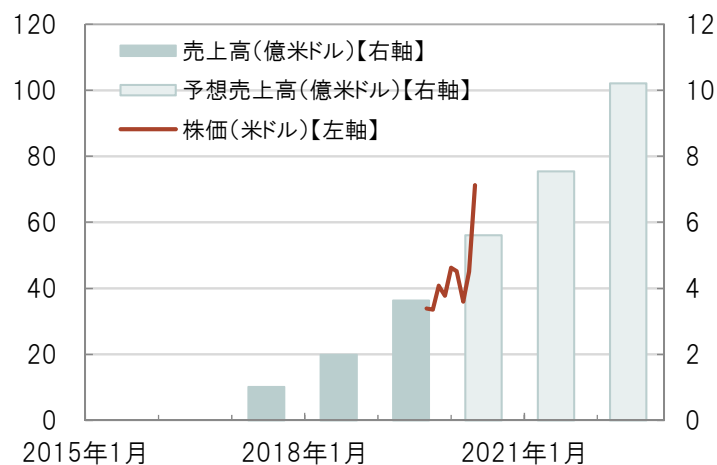
New!

組入順位21位 組入比率1.8%


**データドッグ**

- 2020年5月に新規組入れ。クラウドをベースとしたデータモニタリングおよび分析プラットフォームを提供しており、顧客が自社の管理するデータ等をリアルタイムで監視することを可能に。
- 一般的なマルチクラウドの監視ツールでは、クラウドプラットフォーム毎に制限等があったが、同社は主要なクラウドプラットフォームに対応しており、サーバーからアプリケーションまで、広範囲にわたる一元的な監視を可能にしています。
- モニタリングの分野で世界で高い市場シェアを占めるだけでなく、今後のクラウド化の進展により、同社の強みである広範囲にわたる一元的な監視にさらに注目しています。
- また、同社は顧客のデータを分析し活用することで、セキュリティビジネスに本格的に参入しています。
- 新型肺炎の感染拡大に伴うリモートワークの移行等クラウド化を追い風に、今後も同社の高い成長を見込んでいます。

## 株価等の推移

(期間)株価:2019年9月末~2020年5月末  
売上高・予想売上高:2017年度~2022年度

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・組入順位と組入比率は2020年5月29日時点です。・組入比率は純資産総額に対する割合です。・組入比率は、当ファンドの代表的なファンドのデータとして「為替ヘッジなし」のデータを掲載しています。「為替ヘッジあり」の組入銘柄と組入比率については、月報をご覧ください。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・上記は当ファンドのご理解を深めていただくために、組入銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・売上高は各銘柄の会計年度ごとに2015年度~2022年度または2017年度~2022年度(予想売上高含む、2020年6月4日時点のBloomberg予想値)を記載しております。

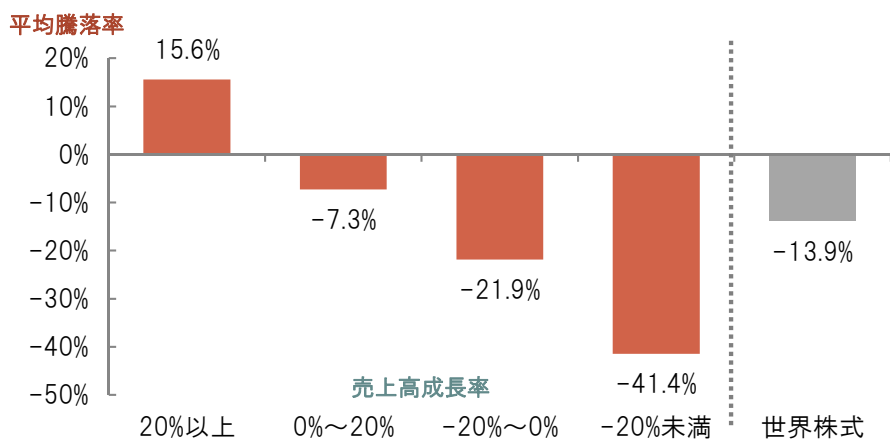
■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

## (ご参考)リーマンショック前後で売上高を成長させることのできた企業はより高い株価騰落率に

- 世界株式のうち、リーマンショック前(2007年末)からリーマンショック後(2010年末)にかけて、売上高成長率が高い企業ほど同期間の平均株価騰落率は高くなりました。
- 当ファンドの保有銘柄の売上高成長率は、前年度から今年度の1年間では17.9%、前年度から来年度の2年間では39.9%の成長が予想されています。

## リーマンショック前後の世界株式の売上高成長率別の平均株価騰落率(2007年9月末~2010年12月末)



## (ご参考)サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)の保有銘柄の売上高成長率

今年度の成長率予想

**17.9%**

来年度の成長率予想

**39.9%**

(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

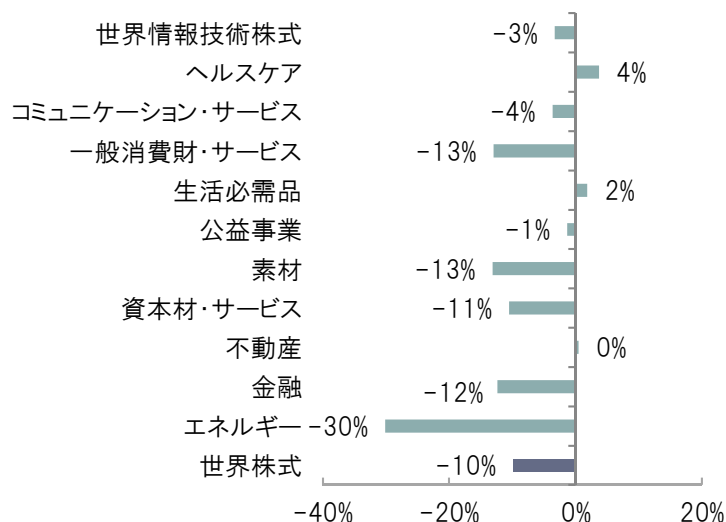
・2007年9月末時点の世界株式(MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス)のデータ取得可能な銘柄を集計しています。売上高成長率は2007年末対2010年末です。・(ご参考)について、2020年5月末時点の組入比率で加重平均して計算しています。・為替ヘッジなしにおいて2020年5月末時点の組入銘柄を今後も組み入れることを保証するものではありません。・今年度および来年度の売上高成長率は2020年6月10日時点のBloomberg予想。・上記は指数を使用しております。指数については【本資料で使用している指数について】をご参照ください。

## (ご参考)セクターごとの売上高成長率予想に大きな格差

- セクター別に売上高成長率予想をみると、多くのセクターで大きなマイナスが見込まれている一方で、新型肺炎の感染拡大の影響が軽微と考える情報技術やヘルスケアは小さいマイナス、またはプラスが見込まれています。

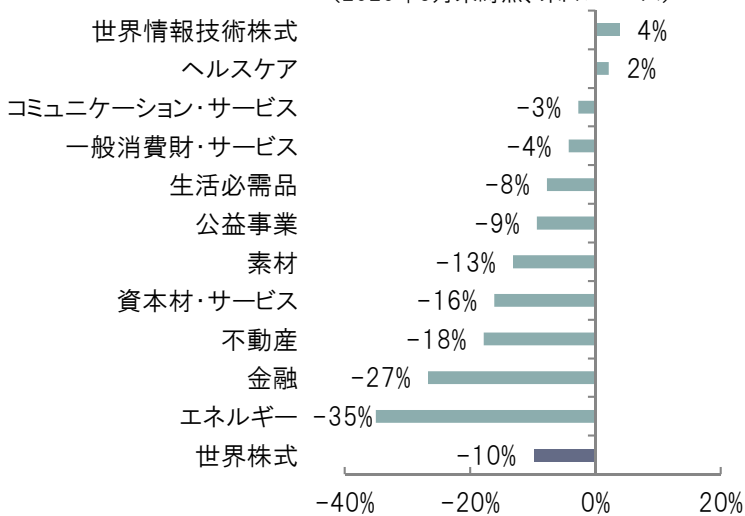
## セクター別売上高成長率予想とセクター別年初来騰落率

## セクター別売上高成長率予想 (2019年末対2020年末)



## (ご参考)セクター別年初来騰落率

(2020年5月末時点、米ドルベース)



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・2020年末の売上高成長率は2020年6月4日時点でのBloomberg予想。・上記は指数を使用しております。指数については【本資料で使用している指数について】をご参照ください。・業種はGICS(世界産業分類基準)で分類しています。GICS(世界産業分類基準)について:Global Industry Classification Standard("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.及びS&Pに帰属します。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

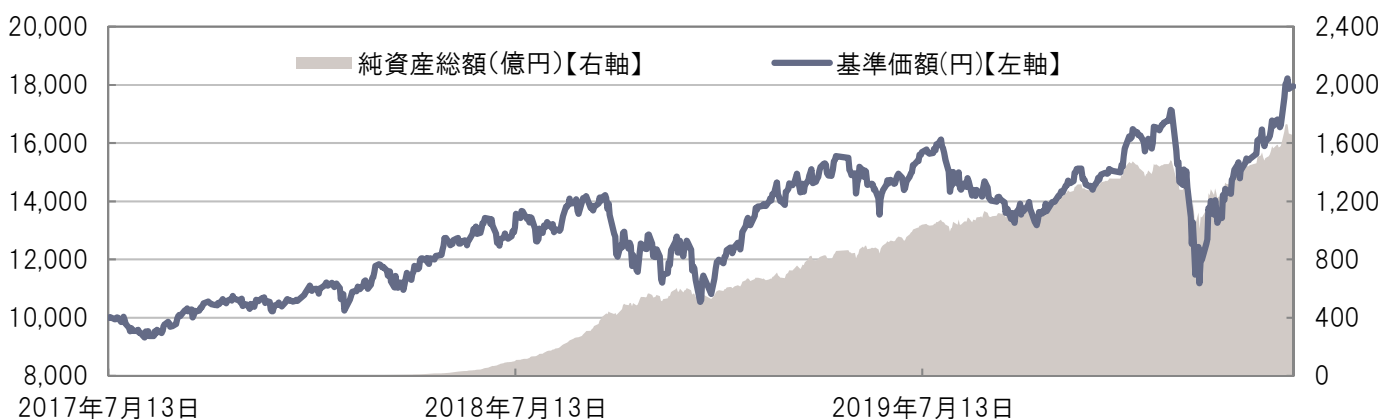
## サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

## 基準価額と純資産総額の推移 (2017年7月13日(設定日)~2020年6月9日)

## 為替ヘッジあり



## 為替ヘッジなし



・基準価額は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・なお、掲載期間内においては、分配金をお支払していません。

## サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジなし)

## Morningstar Award “Fund of the Year 2019”

国際株式型(特定地域) 部門

## Morningstar Award “Fund of the Year 2018”

国際株式型(グローバル・除く日本) 部門

2018年・2019年 2年連続

## 優秀ファンド賞受賞



Morningstar Award “Fund of the Year 2019”、“Fund of the Year 2018”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2019年、2018年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型(特定地域) 部門は、2019年12月末において当該部門に属するファンド719本の中から選考されました。国際株式型(グローバル・除く日本) 部門は、2018年12月末において当該部門に属するファンド926本の中から選考されました。

※当該評価は過去の一定期間の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

## 【ファンドの目的】

日本を含む世界の株式を実質的な主要投資対象とし、主として値上がり益の獲得をめざします。

## 【ファンドの特色】

- 特色1** 主として日本を含む世界のサイバーセキュリティ関連企業\*の株式に投資を行います。
- ・株式等への投資にあたっては、サイバーセキュリティの需要拡大および技術向上の恩恵を享受すると考えられる企業の株式の中から、持続的な利益成長性、市場優位性、財務健全性、株価水準等を考慮して組入銘柄を選定します。
  - ・株式等の組入比率は高位を維持することを基本とします。
- \* 当ファンドにおいては、サイバー攻撃に対するセキュリティ技術を有し、これを活用した製品・サービスを提供するテクノロジー関連の企業等をいいます。
- ※実際の運用はサイバーセキュリティ株式マザーファンドを通じて行います。
- 特色2** 株式等の運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシーに運用指図に関する権限を委託します。
- ・アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシーは金融グループであるアリアンツ・グループの一員であり、テクノロジー株式の運用戦略について豊富な経験を有する資産運用会社です。
- ※運用の指図に関する権限の委託を受ける者、委託の内容、委託の有無等については、変更する場合があります。
- 特色3** 為替ヘッジの有無により、(為替ヘッジあり)、(為替ヘッジなし)が選択できます。
- ・(為替ヘッジあり)は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。
  - ・為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。
  - ・(為替ヘッジなし)は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動による影響を受けます。
- 特色4** 年1回の決算時(6月6日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。
- ・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

## 投資リスク

基準価額の変動要因: 基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、特定のテーマに沿った銘柄に投資するリスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリー・リスクです。上記は主なりリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 本資料に関するご注意事項等

- 本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

## 本資料で使用している指数について

## ■世界株式:MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス

MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

## ■世界情報技術株式:MSCI オールカントリー・ワールド 情報技術 インデックス

MSCI オールカントリー・ワールド 情報技術 インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式のうち情報技術セクターに分類された銘柄で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



## サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

## お申込メモ

購入時	<b>購入単位</b> 販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
	<b>購入価額</b> 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万円当たりで表示されます。
換金時	<b>換金単位</b> 販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
	<b>換金価額</b> 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
	<b>換金代金</b> 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込について	<b>申込不可日</b> 次に該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日
	<b>申込締切時間</b> 原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
	<b>換金制限</b> ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
	<b>購入・換金申込受付の中止および取消し</b> 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入の申込みの受付を中止することがあります。
その他	<b>信託期間</b> 2032年6月4日まで(2017年7月13日設定)
	<b>繰上償還</b> 各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
	<b>決算日</b> 毎年6月6日(休業日の場合は翌営業日)
	<b>収益分配</b> 年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。) 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
	<b>課税関係</b> 課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。
<b>スイッチング</b> 各ファンド間でのスイッチングが可能です。販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。手続・手数料等は、販売会社にご確認ください。なお、換金時の譲渡益に対して課税されます。	

## ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	<b>購入時手数料</b>	購入価額に対して、 <b>上限3.30%(税抜 3.00%)</b> 販売会社が定めます。 くわしくは、販売会社にご確認ください。
	<b>換金時</b>	<b>信託財産留保額</b> ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	<b>運用管理費用(信託報酬)</b>	日々の純資産総額に対して、 <b>年率1.870%(税抜年率1.700%)</b> をかけた額
	<b>その他の費用・手数料</b>	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・監査法人に支払われるファンドの監査費用</li> <li>・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料</li> <li>・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用</li> <li>・その他信託事務の処理にかかる諸費用等</li> </ul> ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6か月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

設定・運用は



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

お客さま専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
(受付時間/営業日の9:00~17:00)

●ホームページアドレス：<https://www.am.mufg.jp/>

# 販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

サイバーセキュリティ株式オープン(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第6号	○	○		
株式会社愛知銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第12号	○			
阿波証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第1号	○			
今村証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第3号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号			○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○		○	
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第169号	○			
岡地証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第5号	○	○		
おかやま信用金庫	登録金融機関 中国財務局長(登金)第19号	○			
おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者 沖縄総合事務局長(金商)第1号	○			
極東証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第65号	○			○
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2938号	○			
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第43号	○			
篠山証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第16号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第77号	○		○	○
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第8号	○			
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第10号	○			
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社ジャパンネット銀行 (為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	○		○	
十六TT証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第188号	○			
新大垣証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第11号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第114号	○			
中銀証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第6号	○			
株式会社筑波銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第44号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長(金商)第36号	○			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号	○			○
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第32号	○			
株式会社マト銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第11号	○			
株式会社富山第一銀行	登録金融機関 北陸財務局長(登金)第7号	○			
株式会社長野銀行(為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第63号	○			
南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第25号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
八十二証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第21号	○	○		
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1977号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第10号			○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第134号	○			
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第20号	○			
広田証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第33号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号	○			
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第24号	○			
松阪証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第19号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○	○		
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号	○			○
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1771号	○			
株式会社横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号			○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第199号	○			